

# 南笠東学区住民福祉計画2014

(地域福祉活動計画書)



社会福祉協議会の領域  
活動の視点

- 草津市社会福祉協議会の指定する事業の実施
- 学区の特色に即った住民福祉活動の推進
- 区域的な地域の課題事業の企画実施
- 地域協働(社協参加団体)の事業の協賛
- 学区コミュニティ活動の推進
- 上記の関連または付帯する事業

時流の変化に重心がブレないように、軸を調整

**楽しんで自己を成長させる仲間づくり**  
**みんなで創るまちづくりへの参加**

## Part2 の発行にあたって

Part1 では、福祉(Welfer)を柱にして学区の事業を考えるワークショップ(Warkshop)「ジグザグショップ」のまとめとして作成しましたが、以降に草津市で進められた地域まちづくり計画の策定に大きく関わり、右に掲げるコンセプトや「みんなで創るまち 南笠東」の活動スローガンの基となった「絆」を先導させていただくこととなりました。

Part2 においても、先人が築いてきた福祉の土壌を尊重し、過去の活動経緯を学ぶとともに、多角的かつジグザグな視点で観察し、時代やニーズに副った住民行動の方向を模索しました結果、次の内容で整理をし、Part1 の追録といたしました。

1. 南笠東学区のまちづくりに活かされる住民福祉活動の構築⇒見えるコミュニティ活動の推進
2. 草津市社会福祉協議会と連携した官・民協働のまちづくりの推進  
⇒「地域力」のあるまち草津  
～みんなで広げる地域福祉・人にやさしい福祉のまち

住居形成のコンセプト  
**エンジン付きのトレイン**  
福祉をすすめる性の自立

私たちの活動・・・活動を通して足腰を鍛える  
人と人の関わりから自己を成長させる

立場の尊重  
自主性の尊重  
マネジメントの尊重

個性の尊重  
個性の尊重  
個性の尊重

個性の尊重  
個性の尊重  
個性の尊重

事業企画のコンセプト  
**南笠東らしさの演出**  
守るべきことと変えるべきこと

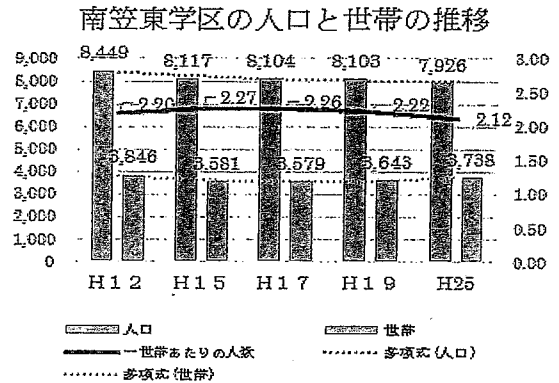
真の支に合った更新で更新する  
やめることはあらかじめではない  
再開は、先人の模倣ではない  
団(住(住)のエネルギーを引き出す  
決めたことはキツリと・・・  
何をやるかより誰とするかを楽しむ

# 541

南笠東学区の人口 7,926 人で  
3,738 世帯です (H25.11 現在)。

この十年の変化では 191 人現象し、

逆に世帯は 157 世帯の増加となっています。高齢化率は 15.6%と市の高齢化率 19.3% (県 22.3%) よりも低いのですが、市民生委員児童委員協議会福祉実態調査では一人暮らしの高齢者が 135 人、65 歳以上のみの世帯 406 世帯と 65 歳以上人口の約 3/4 を占めていました。高齢者の生活問題は高齢化率が低いからといって決して他所ごとではありません。



# 3768

南笠東学区は、学生が多く住む町です。立命館大学びわこキャンパスは、約 8,000 人が学校の周りに下宿しているとされています。平成 24 年度の市民生委員児童委員協議会福祉実態調査では、ワンルームマンションの戸数は 3,768 戸でした。このことから南笠東学区には 2500 人から 3000 人の立命館大学生が生活をされていることが想定されます。このことから、学区まちづくり協議会では学生との関わりがもてる環境づくりをすすめています。福祉の領域についても、これに関わる地域団体の共通したテーマです。

# 2015

南笠東学区では、2015年(平成26年)をターニングポイントに置いています。

これは、南笠東学区まちづくり協議会が取り組んでいる「官・民協働事業」のひとつである狼川河川公園の完成年度となりますが、それまでに効率的な地域経営として自然環境や公共の施設の維持など豊かな恵みをもたらす事業への展開を見据えた準備をしようとするものです。地域まちづくり計画書では次のように示されています。

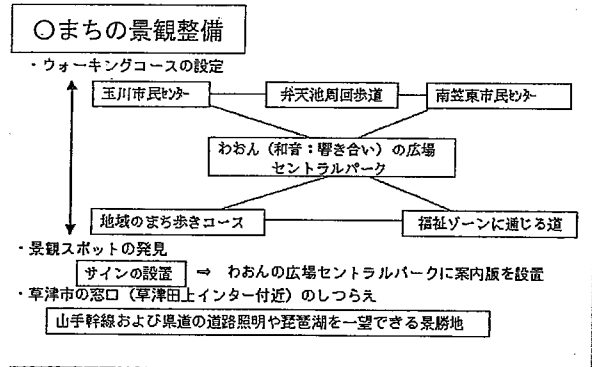
【絆の育み】

- ①地域の団体やグループの目的にそった活動
- ②地域の諸団体が協力して取り組む事業
- ③広域的な地域の連携を育む事業

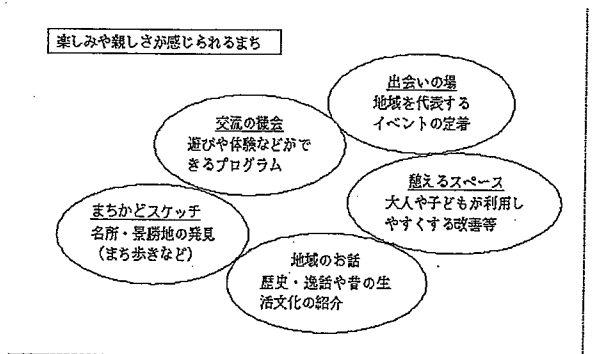
【協働のフィールド】

地域のまちづくりを総合的にすすめていくために

- ①行政との連携やNPO 団体の協力や支援など  
「地域ぐるみ」の範囲を超えること
- ②女性の社会参加や高齢化社会の対応として  
「有償ボランティアの制度」などの道筋を整えること



○見えるコミュニティ活動の推進



南笠東学区のまちづくりに活かされる住民福祉活動の展開

# 3つの視点

## ① 活動のフィールド

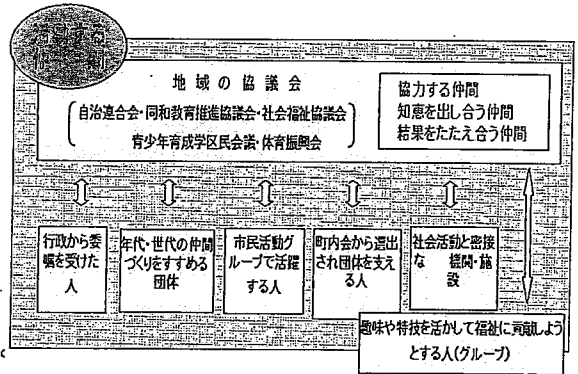
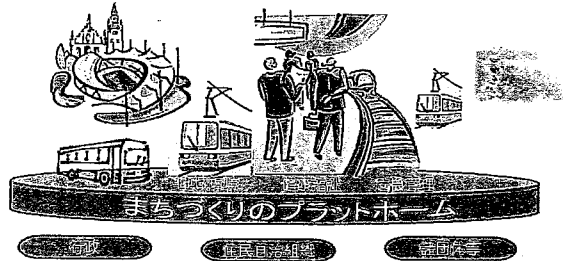
南笠東学区まちづくり協議会では、社会福祉協議会を『健康・福祉の領域の推進軸』に位置付けられています。

## ② 協議会という名称のついた組織

協議会という名前のついた組織の多くは、目的を共にするものの集まり（単位組織）の集合で、団体や組織が、実践や研修を通して『仲間の育み』や『成長と発展』を目指しています。

## ③ 福祉の行動（広義の視点）

福祉の行動は、与えるものと求めるものを切り離すのではなく、多くの人々が公共の場に集い一緒に汗を流したり、喜びや悲しみを共にしていける社会を築いていこうとする意志が源です。



# 2つの試行

見えるコミュニティ活動は、実践の積み重ねによって蓄えたものを彩りとして実感できるようなしつらえをすることであり、日常から次の意識を備えておくことが大切です。

## ① 実感できるプログラムや事業企画

- ・ 事業の目的や対象者の明確化
- ・ パターンの継承と中身の更新

## ② 協力や支援ができるすそ野の拡大

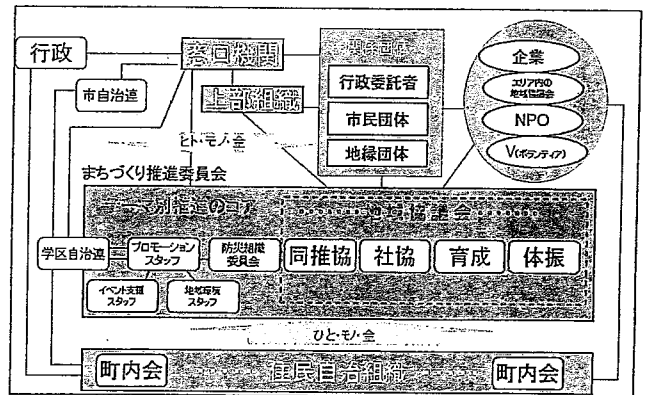
- ・ 団体や組織の理解者拡大や足腰の強化
- ・ 支援役割や協力体制などの相談

# 1つの目標

## ① 地域の恵み

地域の恵みは、多くの関わりのなかで、持たられます。その大前提となるところは「良好な関係づくり」にあります。

広域的な連携を深め、お互いに恵みを楽しみ合える地域社会の構築は、地域力のアップを進めるキーワードです

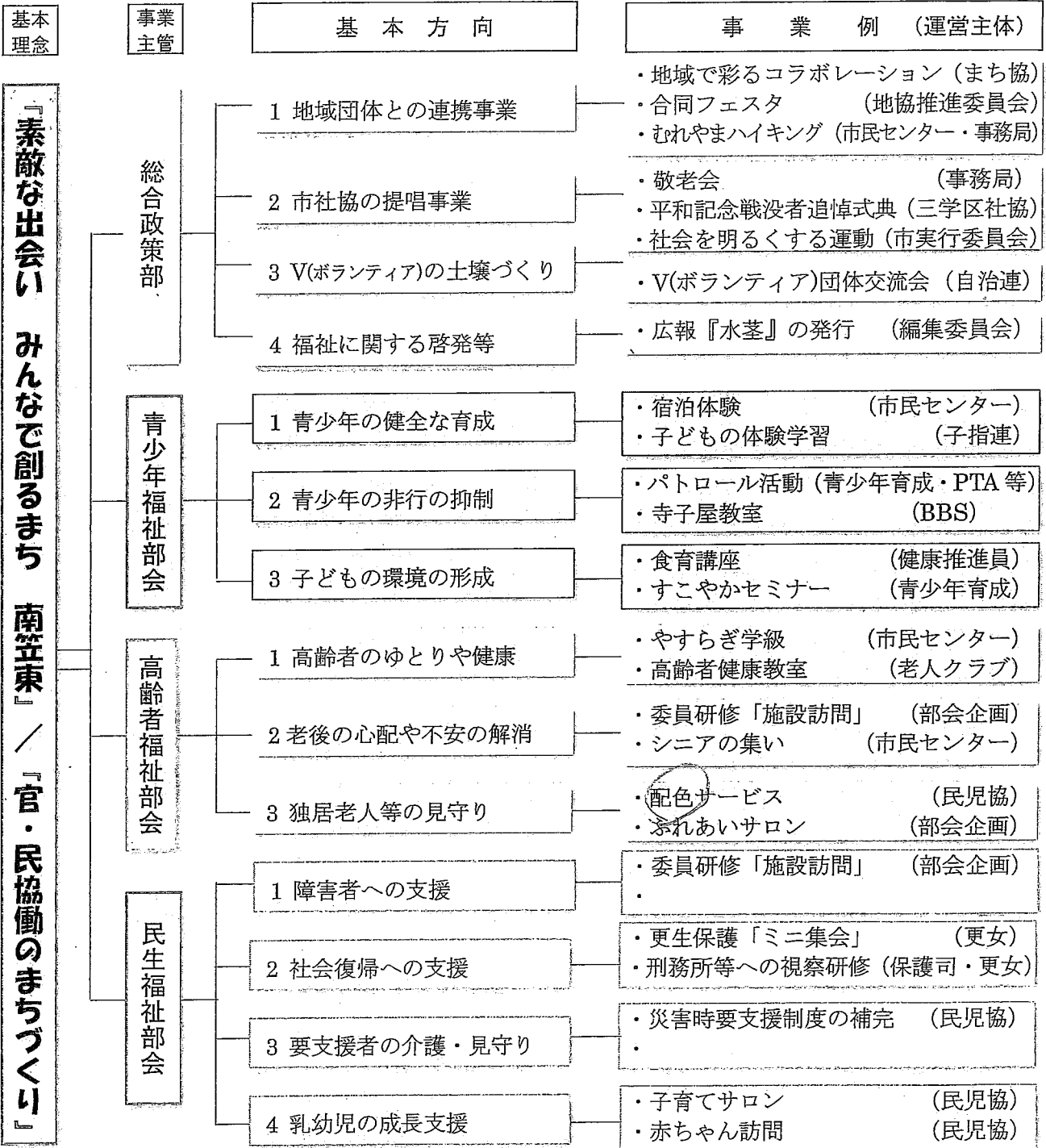


「地域力」のあるまち草津

～ みんなで広げる地域福祉 人にやさしい福祉のまち ～



目指すもの・・・団体（単位組織）の成長と発展・バランスのとれた地域社会の構築



住み家のチェック

(New Wave)

- 自分たちの目的にそった推進部会(青少年・高齢者・民生)に登録をしましょう。  
団体の活動領域が複数に及ぶ場合は、複数の委員で部会に参画しましょう！
- 個人V(ボランティア)の受入を進めましょう。  
団体は、目的を選択して加入する者の受入体制をすすめましょう！  
部会は、目的を同じくして活動するグループの参画を歓迎しましょう！